

文芸とうかい

【俳句】

野菜苗自粛生活庭いじり

豊白 東海林笑湖

古来より想定外とは浅慮なり

南台 渋谷ひろし

さらさらと海の奥より溽暑来る

村松 松本 正勝

余白増ゆ五月の日記コロナ禍に

村松北 小野寺紀夫

兄の忌やくちなしの雨そぼ降りぬ

豊白 小林 久男

本当の坂はこれから登山口

村松 大内たけみつ

故郷に想いをはせる七夕に

船場 庭田紀久子

【短歌】

夕陽うけ一望千里丘に居て

昔変わらぬ夕餉の郷か

白方中央 寺島 功夫

母の日にテイクアウトの特注を

届けてくれし子と孫娘

外宿 小林美代子

草とるな湿布はるなと主人いう

はいと言っても目標までは

白方 佐藤 操

五月晴れ千波湖畔を老二人
幾星霜の記念日迎えて

照沼 佐藤 昇

毎日を自分の好きな趣味いかし

ストレスためず楽しく暮らそう

白方 海老根ヨシイ

ケーキ二個缶ビール二本買い求め

五十七回目の結婚記念日

緑ヶ丘 佐藤 正

針と糸持つ指先の危ふけど

友の真似してマスク縫いをり

須和間 柴山 靖子

パソコンで腰痛治す術を知り

日々快適に一年の過ぐ

船場 野々道 歩

新聞を届ける響きオートバイ

窓の明かりに今日を企む

豊白 梅津 秀雄

暮れなずむ夕べの庭にひそやかに

合歡は葉を閉じ月見草ひらく

駅西 大貫はるみ

いちごつべ上手に踊りし発表会

苺を食べれば孫思いだす

船場 萩谷 洋子

コロナ禍で飲み会無くて家で飲む

奢り無くなり貯え増える

内宿 三浦 充宏

越しゆきし隣の少女わが庭に

水仙植ゑしいま盛りなり

村松 桜井 秀子

村内等で行われた活動やイベントを紹介します

ず〜むあっぷ「まちの風景」



【写真左から】井坂頼一さん(真崎浦土地改良区事務局長)、大内松男さん(同前理事長)、川崎卓卓さん(同理事長)、山田村長、大内静夫さん(同理事)、岡部裕子さん(同事務局員)



学 生時代からの夢を叶えて 市川さん、国内の女性科学者の頂点「猿橋賞」を受賞

6月15日、自然科学の分野で顕著な研究業績を収めた女性科学者に贈られる「猿橋賞」を受賞した市川温子さん(村松、京都大学准教授)が、村長へ報告に訪れました。市川さんは、素粒子ニュートリノの性質を解明する「T2K実験」(J-PARCから発射したニュートリノを約300キロメートル離れた岐阜県にあるスーパーカミオカンデで検出する実験)に貢献し、今回の受賞に至りました。「好きなことを一生懸命勉強すること。それが夢の実現につながります」と話してくれました。

真 崎浦干拓の歴史を知る鍵に 真崎浦干拓事業の関連資料を交流館へ

このたび、真崎浦土地改良区の皆さんから村へ真崎浦干拓事業関連資料一式が提供され、6月22日、村長室で贈呈式が行われました。資料の一つ「真崎浦耕地整理図面」は、明治44年、第3回目の干拓事業の際に作成されたと思われるもの。真崎浦が沼地(湖)であったことが記される貴重な資料です。資料を手に取りながら「先人の苦労があって、今の真崎浦があることを忘れないでほしい」と皆さん。必要な修復作業を経て「(仮称)歴史と未来の交流館」へ展示し、郷土の大切な資料として村民の皆さんに伝えていきます。